

# 「詩人尹東柱 記憶と和解の碑」への道



「詩人尹東柱 記憶と和解の碑」

## 詩人尹東柱 記憶と和解の碑 碑文

詩人 尹東柱(ユン ドンジユ)は、一九一七年一月三〇日、中国東北部(旧満州)のクリスチャンの家に生まれた。文学を志して日本統治下の朝鮮で学び、一九四二年、東京の立教大学に留学したのち、同志社大学に転学した。在学中、学友とともに宇治川を訪れた尹東柱は天ヶ瀬吊り橋で記念撮影し、河原で飯盒炊さんを楽しみ、請われてアリランを歌うなど青春の一日を過ごした。しかし、一九四三年七月、朝鮮独立運動への関与を理由に治安維持法違反容疑で逮捕され、懲役二年の刑を受けて福岡刑務所に収監、一九四五年二月一六日、二七歳で獄死した。

一九四八年、韓国で遺稿詩集『空と風と星と詩』が刊行され、後に日本語にも翻訳されて、詩人 尹東柱の名を広めた。

二〇〇四年、国連が五月八日・九日を「第二次大戦中に命を失った人々への追悼と和解の時」と決議した。

私たちはこの決議を尊重し、自己実現の道を閉ざされた詩人 尹東柱が生きた証を未来に伝えるため、詩「新しい道」を刻んだ碑をこの地に建立する。

二〇一七年一〇月二八日

詩人尹東柱記念碑建立委員会

15:00 「詩人尹東柱 記憶と和解の碑」

14:10 天ヶ瀬吊り橋

天ヶ瀬ダム

白虹橋

尹東柱がアリランを歌い飯盒すいさんをした場所。

13:30 京阪宇治駅前  
ロータリー集合



塔の島公園

宇治橋

世界遺産宇治上神社



宇治川

山本宣治旧宅  
花やしき浮舟園



世界遺産宇治平等院



杉蔭川